



かたはSP学生Office

教師を目指す学生による「学生文化」「学校文化」の創造と
新たな「学生と学校のWin-Winの関係」の構築

かたはSP通信

と
ひ
ツムぐ学生

第36号

2017年8月9日

編集 竹内稔博

(東浦中学校主幹教諭)

夏休みわくわく算数・数学教室特集号 No.15

～そうだ、夏は、東浦へ行こう！ 東浦の子どもたちのために、
そしてSPさん自身の教師力向上のために～

子どもの「笑顔」

わくわく算数教室のDVDを4年間作り続けています。この4年間、必ず使うBGMがあります。高橋優さんの「福笑い」という曲です。「共通言語は英語ではなく笑顔」という歌詞。笑顔のすばらしさを歌った曲です。

BGMを決める時に、思わずこの曲を選んでしまいます。なぜか？わくわく算数数学教室では、会場のあちこちで「すばらしい笑顔」がいっぱいあるからです。

それは「子どもの笑顔」、そして、「SPさんの笑顔」です。これは紙面では伝わりません。ぜひDVDを見てください。今回作った8月9日午前の部の振り返りスライド、これは、すべての写真が「笑顔の写真」です。子ども、SP、来賓、教育委員会の方々…、たくさんの笑顔が“わくわく”にはつまっています。（「福笑い」の曲は、SPさんの打ち上げ会の二次会のカラオケで、必ず熱唱されます。わくわく算数のテーマソング的存在なのです。）



写真の子は、3年生の男子です。仮にF君とします。彼のこんな笑顔は、実は学校ではなかなか見られません。学校ではちょっと指導が難しいこともあります。担任の先生方の努力が少しずつ実ってきてはいますが、でも、こんな表情を見せることはほとんどありません。この表情は、彼が「心の底から、楽しい、うれしい」と思わないと出ないのです。「心の底から」です。彼は何が楽しかったのか？うれしかったのか？視線の先には、SPさん

の笑顔があります。SPさんの笑顔につられたのかもしれませんが。SPさんが全力で関わってくれる、そして、出来なかった問題ができるようになった、自分の成長を自分で実感できた、さらにSPさんが、出来たことを自分のことのように手をたたいて喜んでくれた…。そういう状況なのです。

そして、その状況がわくわく算数教室では「あちこち」で起こります。SPさんと子どもの関係、SPさんの底知れぬ愛情と子どものやる気が、あちこちで喜びとなり、笑顔の花を咲かせます。なんと尊い活動でしょう。なんと尊い事業でしょう。